



..... 人の輪の中で育つ子ども達 .....

11月は尾岱沼地区でも様々な文化行事が行われました。子ども達や地区の方々の素晴らしい作品を展示した作品展があり、そこには思わず笑みが浮かぶ子どもたちの作品や、見入ってしまう絵画や写真、一つ一つに思いを込めた作品の数々が並んでいました。また、芸能アラカルトでは、子ども達の演奏や演技に惜しみない拍手をくださいました。そして、地域の方々自身がこの会を盛り上げるため色々なところで活躍する姿がありました。5時スタートの8時半終了、小さい子達にとってはもう眠い時間です。目がトローンとしても会場にいる低学年の子がいました。その先には、舞台設置に汗しているお父さんの姿がありました。自分のお父さんがみんなのために働いている。その子にとっては、とても誇らしいことだったでしょう。また、最後の中高生・大人の龍神太鼓の演奏にかぶりつきでみている小学生。力の入った演奏にいつか自分も…と思う子もいたことでしょう。子ども達にとっては、地域の方々の姿を肌で感じ、学ぶ貴重な機会になったと思います。「ちびっこ秋祭り」はお母さんたちの活躍の場だったと聞きました。美味しい団子汁は、子ども達のふるさとの味となって残ることでしょう。

このような地域行事等は自分や家族が地域とどう繋がっているのか、自分も地域の一員であり、地域を支える力となっていることを実感できる良い機会なのだと感じました。「地域で育つ、地域で育てる子ども達」ということが最近注目されています。子ども達の様々な活動も地域の方々に支えられていること感じ、大人になった時、今度は自分たちが地域を支える番だと思ってくれると嬉しいなあと思います。地域をつなぐ人の輪が、子ども達を育て、その子ども達が新しい輪となって地域を支える人となれるようこれからもよろしくお願ひします。

校長 山本 銀子

子ども達の命と健康を守る…学校の危機管理を考える

今回の体育館ボイラー停止や、21日に行われた大津波に対するご家庭への引き渡しも含めた避難訓練をとおして、学校として、子ども達の命と健康を守るために危機管理について改めて考えさせられることができました。

ボイラーについても、はっきりしたことは検査の結果を待つことになりますが、最悪を想定しての対応です。避難訓練も昨年の反省をもとに実施し、改善された点もありますが、課題もまた見えてきました。それを一つ一つ克服することで、いざという時の、すなわち危機に対する備えが整っていくのだと思います。

これから厳しい季節を迎え、荒天も予想されます。そのような時は、まず、子ども達の命と健康を守ることを最優先に考え対応していきたいと思います。ご理解ご協力のほどよろしくお願ひいたします。今回はありがとうございました。

